

会議録	
会議名	令和5年度第2回（第14回）三豊市地域公共交通活性化協議会
日時	令和5年10月25日（水）10時30分～11時45分
場所	三豊市危機管理センター301・302会議室
出席者	<p>[委員] 15名  宮崎耕輔（会長）、綾章臣（旧副会長）、西成典久（新副会長）、鴨田嘉史、峰久數俊、上野智弘、永田一人（鹿児島委員代理）、中村勇夫、串田正人、香川忠義、小野敬二、紙本尚幸（十川委員代理）、木村委員、玉井謙吾（淵田委員代理）、浅木典夫</p> <p>[協議会が必要と認める者] 1名（三豊市地域公共交通活性化協議会規約 第3条(11)項）  暮らしの交通株式会社 田島颯代表（「mobi」について途中入退場）</p> <p>[事務局] 4名  政策部竹田政策調整官（地域戦略課長兼務）、森糸主任、伊達副主任、嶋田主任主事</p>
議事	(1) 役員の選任について
報告事項等	(1) 栗島グリーンスローモビリティ本格運行について (2) 栗島汽船ダイヤ変更について (3) 財田乗合タクシー運行状況について (4) EVバス実証運行について (5) 「mobi」実証運行延長について

発言者	会議要旨
事務局	<開会>  <b>1. 委員紹介</b>
事務局	これ以降は、規約に則り宮崎会長に議長をお願いする。
宮崎会長	<挨拶>  <b>2. 議事</b> <b>(1) 役員の選任について</b>
事務局	<説明> 副会長の選任について
宮崎会長	事務局の説明のとおり、委員の皆様の互選により副会長を選任することとなる。ご意見はいかがか。

	<意見なし>
宮崎会長	委員の皆様特に意見がないようであれば、事務局に一任したいと思うが事務局は案などあるか。
事務局	はい。事務局案としまして、今回新たに委員としてご就任いただいた香川大学経済学部教授の西成委員に、副会長をお願いできればと思うがいかがか。
	<異議なし、原案承認>
宮崎会長	それでは、議事（１）役員の選任について、副会長は西成委員をお願いするということで承認された。西成副会長、よろしく願います。
西成副会長	<了承>
宮崎会長	<b>（１）粟島グリーンスローモビリティ本格運行について</b>
事務局	<説明>
宮崎会長	ただいまの説明についてご意見、ご質問などあれば願います。
	<質問等なし>
宮崎会長	<b>（２）粟島汽船ダイヤ変更について</b>
事務局	<説明>
宮崎会長	ただいまの説明についてご意見、ご質問などあれば願います。
	<質問等なし>
宮崎会長	<b>（３）財田町乗合タクシーについて</b>
事務局	<説明>
宮崎会長	ただいまの説明についてご意見、ご質問などあれば願います。

宮崎会長	私の方から一点、確認したい。利用登録者の26名はすべての方が利用されているのか。
事務局	1～2名を除いてすべての方が利用されており、その中でも2～3割程度の方がよく利用されており、リピーターとなっている。
宮崎会長	現状の課題の中で、朝イチ、昼イチの利用が集中している時間帯があるとのことだが、そうすると利用したくても利用できていない人がいるということか。
事務局	曜日として金曜日に地域のイベントがあり、その際の予約が集中してしまい、予約ができない状況になったこともあった。
宮崎会長	そういった部分について、何らかのアイデアや対応策は考えているか。
竹田政策調整官	<p>現在、乗合タクシーについては、全体的な利用がまだ活発になっていない部分がある。また時間帯に応じて利用頻度にもかなり差がある状況。</p> <p>乗合タクシーについては実証としてやっているため、アンケート結果も踏まえて、今後、便数や時間帯など調整をしながら利用しやすくなるように試していきたいと考えている。</p>
宮崎会長	<p>普通のタクシーでもそうだが、配車をお願いして断られたときにどうするかという部分がある。外出を諦める場合や、自家用車を出す場合もあろうかと思う。その次の段階として、一度断られると、利用するのを躊躇し、止めてしまうという状態がある。しかし、一般のタクシー会社さんでも、こういった「断った件数」を把握していないという現状もあるので、県下のタクシー会社さんにもデータとして「断った件数」なども押さえてほしいとお願いしている。こういった部分をどこまで柔軟に対応して、断らずにできるかが重要となる。引き続き対応を考えていってほしい。</p> <p>また、稼働率を見てみると割と良く見える。財田町では、今までコミュニティバスを使う、というくらいしかなかったと思うが、今回の実証によって見えたこととして、実際に「利用したい」と考えていた方が利用しており、そういった方を掘り起こせた実証となったと感じる。今利用している方を大切にしつつ、今後も本当に使いたい方、止む無く自家用車に乗られている方もまだいると思うので、協議会の皆様には、それぞれのお立場でご意見やアイデアなど今後も出していただきたい。協議会の機会だけでなく、気が</p>

	<p>つくことがあれば、まずは事務局にでも相談、ご意見いただきたい。</p>
香川委員	<p>利用者の方は3か所の中で、どの停留所の利用頻度が高いかなど分かるか。</p>
事務局	<p>財田支所が一番多い。その次が山本支所となっている。財田支所には支所での用事もあり、社共、公民館などもあるためイベントがある。また同じ場所に財田診療所もあるため一番利用が多い。山本支所においては、すぐそばにショッピングセンターがあるためそこへ行かれる方が多い。物産館においては、意外であったが利用がほとんどなく、ヒアリング等で地域の方にお聞きすると「野菜は家で作っているからわざわざ買いに行かない。」等の意見が多かった。</p>
木村委員	<p>稼働率の状況を見ると、予約がない便については運行していない、との運行状況のようだが、その中で1を下回っている数値の部分はどうのような状況か。</p>
事務局	<p>そちらについては、当初の頃1日の中で6便の運行があっても、例えば、2便、4便しか予約が入らず、運行しなかった便もあったため、稼働率として、1を下回る数字が出てきている。</p>
木村委員	<p>それでは、定期運行として本来運行している便数から、稼働している便数を出して稼働率としている、という数字ということですね。実際に運行しているという便数から稼働率を出すと1は上回っているということですね。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
木村委員	<p>実際に運行しているという部分から稼働率を見てみると、乗合タクシーというものは地域の少ない限られた財源の中で、地域の方の移動を確保していくという意味で乗合率を高めていく、というのが大きな目標となると思った。</p>
小野委員	<p>基本的なことを教えていただきたい。予約は前日の16時まで、お迎えは自宅まで、乗降場所は3か所とのことだが、予約は往復となっているのか。</p>
事務局	<p>はい。往復で使う場合もある。その場合、1便で行きの予約、4便で帰りの予約、というように往復で予約をしていただくことになる。ただ、帰りは好きな時間に家族に送迎を頼みたい、との要望もあるので、その場合は行きだけの予約、帰りだけの予約、という形にも対応している。</p>

宮崎会長	朝イチと昼イチの便の予約が混む、という話だが、例えば車両はどのような車両か。セダンなのかハイエースなのか。そういった工夫でお断りする件数を減らせないか。
事務局	はい。車両は現在セダントップを使用している。自宅までお迎えに行くというスタイルから道路幅を考えるとハイエースは使いづらい部分がある。例えば、金曜日のイベントで混んでいる日には、何名かのグループでそのイベントへ参加したいと考えられている。そういった中で「みんなで揃って行けないのはつらい。」という声があったことや、こちらのグループは予約が取れたから行けて、こちらのグループは予約が取れずに行けなかった、などの問題も出てきた。そういった部分がヒアリングの中でも聞こえてきたため、事業所さんへ相談して、予約が重なっても事業所さんの行ける範囲で努力していただき、ピストン運行などで対応してくれており、現在「予約が取れず行けない」という方たちはいない状況となっている。
宮崎会長	状況は承知した。こういった乗合タクシーという形では他の地域でもよくある状況。乗合というネーミングからかもしれないが、グループで使うという感覚。本来、一般タクシーを使用してもらうというのものもあるが、財田町には一般のタクシーがない。そのため、そもそも移動手段がかなり制約されている現状がある。イベントと移動という部分はまちづくりとしてセットで何か解決できる方法を考えていくべきなのかもしれない。
小野委員	「知名度はあるが利用してもらえていない」との説明があったが、そう言い切れるのは何か調べた上でデータがあるのか。
事務局	はい。今回の資料にアンケート結果をいくつか載せているが、ここに載せていない項目の中で「乗合タクシーを知っているか」といった質問をしている。その結果が回答いただいた約9割以上の方が「知っている」と答えていただいております、その結果によるもの。
香川委員	次のアンケートの予定はあるか？
事務局	はい。今回のアンケートは春頃をお願いしたアンケート結果となっているので、また来年の春頃に取り上げると考えている。
西成副会長	乗合タクシーが1年の期間でグッと利用状況が上がっていると感じるが、ど

	<p>のように利用状況が上がっていったのか、理由は分かっているか。</p>
<p>宮崎会長</p>	<p>確かに、去年始めた段階では利用状況は良くなかったと感じるが、これについて事務局で何か把握しているか。</p>
	<p>事務局</p> <p>理由として大きな部分は「認知度」が上がっていったことだと感じている。新規利用者の声では口コミで「誰かから聞いたから」と言って登録してくれる方が多かった。もう一点は「前日の14時までの予約が使いづらい」と言われた部分を参考に、2時間締め切りを延ばして前日の16時までとした部分についても影響はあったと思う。実証が昨年11月からであり、約半年後の4月頃から利用状況が上がってきたことは、やはり周知が行き届き始めたという部分と、新年度に切り替わり、予約時間の延長をしたタイミングが重なり、よく利用されるようになってきた折り目になったのではと思う。</p>
<p>西成副会長</p>	<p>他市でも乗合タクシーはあると思うが、締め切りの時間を2時間延ばすということで利用状況が上がったことは良い事例になるのではと感じた。</p>
<p>宮崎会長</p>	<p>時間の延長もあろうかと思うが、やはり口コミで広がるコミュニティの部分で、知った人から「使ってみたら良かったよ」と直接聞く影響が強かったのではと感じる。</p> <p>財田町には一般タクシーがないので、この乗合タクシーは今は無料実証中だが、今後有償となったとしても、地域の移動のセーフティーネットとして繋げていければと思う。</p>
<p>宮崎会長</p>	<p><b>(4) EVバス実証運行について</b></p>
<p>事務局</p>	<p>&lt;説明&gt;</p>
<p>宮崎会長</p>	<p>皆さん、ご意見、ご質問はいかがか。</p>
<p>木村委員</p>	<p>ご意見とゆうよりはご参考までに。EVバスについては、国の方でもカーボンニュートラルの観点で支援しているところであるが、車両が高額であり導入にはかなりの負担感があると思う。市の目的として「持続可能な公共交通」という部分があると説明をいただいたが、継続的に運行していく、あるいは今回の実証によってランニングコストの部分でも検証していくと考えると、また違う路線を増やして検証していくことが考えられると思う。その際には、</p>

	<p>今回活用する補助金以外にも、充電設備や車両の導入における別の支援、予算の仕組みもあるので、今後検討していくようであれば早めにご相談していただきたい。</p>
宮崎会長	<p>国の財政的な支援は是非利用できればと思う。 導入予定である路線は鴨田委員の受託されている路線だと思うがご意見は。</p>
鴨田委員	<p>先日、試乗した際には、やはりガソリン車と比べて若干特性のあるアクセル、ブレーキだと感じた部分はある。また、これから冬場になるが、エアコンなどを使った場合に充電がどのようになるか不安はあるが、市役所にも充電器を設けるとのことで停車時に少し充電などすれば、最終まで走れるのかなと感じた。</p> <p>もう一点は座席数が少ないと感じた。始発便は学生が多いがその他は高齢者となるので、もう少し座席数の多い車両が出てから進めていくべきではないのかなと個人的には感じた。</p>
宮崎会長	<p>EVの充電に関してはその他の地域でもよく話題になる。対応策を考えておくべきと感じる。また車両メーカーとはメンテナンスなどよく連携してほしい。</p>
宮崎会長	<p><b>(5) 「mobi」実証運行延長について</b></p>
	<p>&lt;暮らしの交通株式会社 田島代表 入場&gt;</p>
暮らしの交通	<p>&lt;説明&gt;</p>
宮崎会長	<p>「mobi」については前回も来ていただき、実証のご報告を受けたことがあったが、今回は実証期間の延長とエリアを少し広げられる、というご報告である。皆さん、ご意見、ご質問はいかがか。</p>
宮崎会長	<p>「mobi」に関しては香川県ではこの詫間地域に早く取り入れられたが、最近では丸亀市の一部でも始まった。アプリを入れておけば誰でも利用できて、観光地域などに来られた方はワンタイム料金で、一方地域の方は月額料金で利用できる。こういったアプリでの予約は、従来のタクシーを電話予約で利用している方とはまた別の顧客の開拓となっている。どちらかと言うと若い層の方が利用している。そのため、財田乗合タクシーと同じように、これまで出かけられなかった人への掘り起こし、サポートができると言える。</p>

	ただ、詫間からゆめタウンまでとなると距離数が長いので、何台運行か。
暮らしの交通	基本的には1日2.5台、3台運行している。その内、空き時間が特に多い時間帯を運用してピストン運行するなど、既存車両を有効活用しての運行方法を検討している。
宮崎会長	エリアが広く時間がかかると、その間、車両が使えないということになり、その辺り需要とのバランスを見なければならぬ。「mobi」のいいところはエリアを小さめにして、ある程度短距離の運行でということが使いやすく感じる。
西成副会長	「mobi」は今から三豊で実証するのか。
暮らしの交通	前年度より無償での実証を開始し、現在は有償で本格運行としている状況。
西成副会長	実績データなどはどこまで公開できるものなのか。
暮らしの交通	前回は資料の中でお出ししたので、要望があれば。
西成副会長	利用者はどのくらいで配車されるのか分かるのか。
暮らしの交通	場所にもよるが、平均で10～15分である。最大40分までとなっており、それを超える場合にはシステム的に予約ができない仕組みとなっており、少しお待ちいただいてから申し込んでいただくという運用となっている。
宮崎会長	現在の利用者は大体どの程度か。
暮らしの交通	高専生で200名程度、観光客の利用が500名程度。延べライド数が3000～4000程度を行き来している。
宮崎会長	詫間駅から観光地である父母ヶ浜を含め、地元の高専生に使われている。また徐々に認知度もどんどん上がってきている。
西成副会長	学生の利用が多いのはこのサービスが定着してきていると感じた。
宮崎会長	他にご意見は。



	<p>&lt;質問等なし&gt;</p> <p>&lt;暮らしの交通株式会社 田島代表 退場&gt;</p>
宮崎会長	<p>それでは報告事項は以上となる。その他の部分で事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>次回の協議会について、令和5年度第3回目は1月末頃を予定しているので皆さんよろしくお願ひしたい。</p>
宮崎会長	<p>私からのお願いだが、また今後、財田乗合タクシーの話など現場目線での話なども聞けるといいと感じる。</p> <p>その他何か皆さん方からご意見は。</p>
上野委員	<p>皆さんニュースなどでご存知かもしれないが、来年3月中旬より、JR高瀬駅が無人化となる。少子高齢化に加え、弊社でも人手不足など非常に厳しい経営環境であり、更なる業務運営の見直しという形で販売体制の見直しを行っていくということで、四国の12駅を無人化する予定となっている。香川県では端岡駅と高瀬駅が該当となっている。切符の販売については、現在自動券売機があり、引き続き設置をするので、通常の内国の普通乗車券、特急券、新幹線など購入できることとなっている。</p> <p>定期券については「しこくスマートえきちゃん」というアプリもあり、駅に行かずともクレジットカード登録等で購入できて、そのスマートフォン自体が定期券として使えるようになっている。</p> <p>指定席や四国以外へ行かれる場合は有人駅に行ってもらふこととなるが、JR西日本の「e5489」というインターネットの予約でもお買ひ求めいただける。車椅子等のご利用の方は事前連絡のご協力をいただければ、係員を手配して乗降のお手伝いをさせていただきますので引き続きお願ひしたい。</p>
宮崎会長	<p>高瀬駅はスロープがなかったか。駅の管理はどのようになるか。</p>
上野委員	<p>通常は閉じているが、係員対応の場合にそのスロープを使用する。</p> <p>高瀬駅の管理としては多度津駅の管轄となり巡回等、引き続き管理する。</p>
宮崎会長	<p>せつかくの鉄道だが、駅で降りて誰もいないのはどうしたものか、という部分もあると思うので、誰に言えばいいのかは分からないが、何か方向性を少し考えていかないと感じる。使われなくなつてはいけなひ。</p>

上野委員	また何かご要望があれば今後も協議させていただきたい。
宮崎会長	今後、委員の皆様にも持ち帰っていただいて考えていただきたい。駅の利活用は、公共交通のみでなく、まちづくりの観点からもご意見いただきたい。
西成副会長	高瀬駅の無人化が決まったということではあるが、検討できる場などが必要と感じる部分や、高瀬駅はウォークアブルな街中という観点からは、広い歩道、道路もあり、公共交通も集約されていて、ぴったりの場所だと感じる。三豊のまちづくりを考えていくという部分で、公共交通も極めて重要でありながら新しい三豊を検討していくといいと思う。
宮崎会長	まちづくりへのひとつの大きなきっかけとなる。この協議会としても、まちづくりが主体というわけではないが、公共交通と無関係ではないので皆さんで考えていきたいと思う。 それでは、議事、報告事項等すべて終了したので、事務局へお返しする。
事務局	<挨拶>  <閉会>